



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

介護職員の賃金は平均より月7万円も安い

介護報酬の引下げ撤回を

「介護報酬引き下げ撤回の意見書提出」請願

本会議での各党・会派の態度

賛成	14人	共産4、品改3、れいわ1、 未来1（ネット1）、国民1、 参政1、無所属3
反対	24人	自民・無8、公明7、維新2、 未来5（立民2・無所属3）、 無所属2

※未来…しながわ未来（無所属・立憲・ネット）

7月の区議会本会議で共産党は6本の請願・陳情の賛成討論①再審法改正、②インボイス見直し、③介護報酬引き下げ撤回、④国保料引き下げ・子どもの国保料無料化・真つ赤な封筒やめよ、⑤大崎駅東口再開発見直し、⑥裏金問題対応—を行いました。今回は「介護報酬引き下げ撤回を」の請願への賛成討論を紹介します。

城南保険生協が請願

請願では「厚労省のデータでも訪問介護事業所の4割が赤字であり、昨年の事業所の倒産・休廃業は過去最多の427件に上っている。このままでは、在宅介護が崩壊しかねない」と訴え、「介護報酬引き下げ撤回を求める意見書提出を」と求めています。

訪問介護の報酬

25.4%引き下げ

介護職員の賃金は全産業平均より約7万円も低く、人手不足は深刻で処遇改善は待ったなしです。報酬の引き上げこそ必要なのに、なんと国は、今年4月から介護報酬を引き下げたのです。現場から怒りの声が沸き起こっています。

介護職員の有効求人倍率は15倍。深刻な人手不足のため、ハローワークや求人広告では一切応募がなく、やむを得ず紹介会社を使わざるを得ない状況です。紹介料は年収の

裏へ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、39歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

30%かかり、3カ月働くと戻らない仕組みです。

ある事業所では、紹介された職員が4か月目に連絡なく出勤せず、電話にも出ないため事件に巻き込まれていないかと自宅に行ったり警察に届けたりした。その後電話で一言「辞めます」といわれ、紹介料70万円は戻らなかつたと言います。厳しい経営を更に追い詰めています。この異常な事態の根本原因は、介護職員の劣悪な労働条件にあり、処遇改善こそすべきです。

「引き下げの検証と必要な措置を」の決議

6月の衆院厚生労働委員会は「介護障害者福祉の処遇改善に関する決議」を採択。政府が行った介護報酬引き下げに対して、共産党など野党だけでなく自・公も含む



全会一致で見直しを求める決議が上がるという異例の事態となつたのです。決議では、訪問介護の報酬引き下げの影響を速やかに検証し、必要な措置を講じるよう求めています。

区議会厚生委員会で3・4で不採択に

共産党は厚生委員会で「品川でも意見書をあげていこう」と呼びかけました。しかし、委員会で賛成は共産、れいわ、都ファの3人。自民2、公明、立民の4人が反対し、残念ながら不採択となりました。

「仕事に誇り」「でも、やりがいだけでは頑張れない」

本会議では「利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、望む限り自宅で生活する権利を保障するこの仕事に誇りを持っている」「もうやりがいだけでは頑張れない」とヘルパーさん

たちの声も紹介し、「この声に応える事こそ区議に求められている」と訴えました。しかし残念ながら本会議でも不採択にされました。

引き続き介護職員の処遇改善に力を尽くします。



▲7/18、羽田問題議員連盟しながわが主催し、23区の新ルート直下の区議会議員に呼び掛け、各議会の交流会を初めて行いました。私も品川の取り組みを報告しました。11自治体から43人の議員が参加。今後も連携を取りながら新ルート撤回へ力を尽くします。



無料

法律相談

9月3日(火) 午後6時~8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから